

## 府民公募型安心・安全整備事業審査委員会（京都市域） 開催結果

日 時 平成21年10月20日（火） 10:00～11:40  
場 所 府庁西別館 4階大会議室A  
委 員 同志社大学政策学部教授 今川 晃（座長）  
京都商工会議所産業振興部長 北富 洋二  
京都市建設局長 山崎 糸治（代理出席 大島建設局担当部長）  
京都府総務部長 太田 昇  
京都府建設交通部長 安藤 淳（代理出席 小泉京都土木事務所長）  
京都府教育委員会管理課長 石田 斉  
京都府警察本部交通規制課長 川村 猛

### 1 提案状況の報告について

9月30日時点の応募状況（速報値）について報告

- ・ 京都市域 292件（うち警察関係185件）
- ・ 府内全域 2,193件（うち警察関係524件）

### 2 事業実施報告について

府民提案型事業105件について審査し、技術審査結果のとおり22件について実施が適当と認められた。また、市町村協働型事業2件について実施報告し、全件実施が適当と認められた。

	府民公募型審査件数	市町村協働型実施報告
・ 総務部関係	2件（うち 0件実施）	0件
・ 建設交通部関係	60件（うち16件実施）	2件
・ 警察関係	43件（うち 6件実施）	0件

(※) 警察関係の6件については、他の予算で実施

### 3 委員の主な意見について

- ・ 提案者への回答にあたっては相手の立場に立って、誤解のないよう、丁寧な回答を行うべき。
- ・ 本事業では実施不可となった提案も、他事業での実施の可能性など検討をしてほしい。
- ・ 府管理外となった提案については審査委員会にかけていないが、国、市など管理者への情報提供を十分に行っていく。
- ・ 河川敷における点字ブロック設置や、信号機における視覚障害者付加装置設置な

ど視覚障害者に関連する提案が多くあったが、今回は具体的な提案がないものや、地元調整が必要となる案件で全て実施不可となった。障害者への配慮、地元への配慮、円滑な交通の誘導など利害調整が必要となるだろうが、今後とも調整、検討をお願いしたい。

- 来年度以降の本事業の継続については現段階では未定だが、府民からの声を直接聞き、事業化を検討するというプロセスは本来あるべき姿であり、風化させることなく、一定の継続が必要と考える。
- 本事業の取組の成果をしっかりと公開し、積極的な発信を。